

3類型	鋳工業品	通巻番号	7-22-009
地域資源名	ダンボール	認定日	平成23年2月2日
地域	香川県東かがわ市	所管省庁	経済産業省

事業名:ダンボールを活用したアール加工資材による紙管等の開発・製造・販売

会社名:富士ダンボール工業株式会社 所在地:香川県東かがわ市湊1858
 連絡先:TEL:0879-25-2381 HP:<http://www.fujidanball.co.jp/>
 FAX:0879-25-2385

事業概要(新たな活用の視点)

- ・香川県は古くから製紙業が盛んであったため、ダンボールを製造する企業だけでなく、機能性を付与したダンボール製品の開発に取り組む企業も見受けられる。
- ・既存取引先からイベント等に用いるダンボールPOP資材の開発に係る依頼があったが、円柱状など曲面での展示ができないという課題があった。この課題を解決するためにダンボールのアール加工技術の研究開発を進めたところ、紙管の代替品等の商品に応用できる可能性が高まったため、本事業の開発に着手した。
- ・従来は対応できなかったダンボールにアール加工を施した資材を製造し、この資材によるPOP看板、紙管代替品、リール、パール・ドラム缶代替品などの開発・製造を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

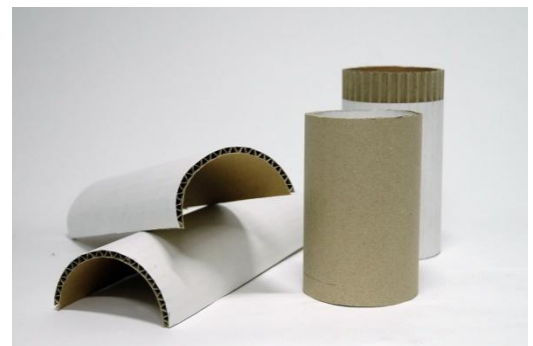
- ・比強度(重量当りの強度)に優れる紙を素材としており、軽量で且つ高剛性が最大の特性である。また、ダンボールは古紙を原料としていることから、リサイクル性が高いという特性もあり、曲面加工ができ、資材としての用途が大きく広がる点でも優位性がある。

◆市場性

- ・POP資材市場は1,886億円(平成19年電通調べ)、紙管市場は658億円(平成20年工業統計調査)、リール市場は16,000万個(平成21年日本電線工業会資料より推計)、パール・ドラム缶市場は3,294万個(平成21年度ドラム缶工業会調べ)であり、それぞれに一定の市場がある。

◆販路

- ・展示会等で、先行開発するPOP資材を展示し、主要顧客として想定している紙管代替市場の更なるニーズの把握に努め、製品の改善を行い、環境に配慮した紙管代替品を模索するメーカーを中心に販路開拓を行う。



地域資源における関係事業者との連携

- ・香川県商工会連合会及び(財)かがわ産業支援財団から販路開拓等の支援を受ける。